

# CeBITへのIPA出展について

SEC副所長 和田 恭 SEC専門委員 新谷 勝利

HRDイニシアティブセンター 調査役 林口 英治

## 1 はじめに

2016年の伊勢志摩サミットで、メルケル首相から安倍総理への要請があり、2017年3月開催の情報技術展CeBIT(ハノーバー)のパートナー国を日本が務めることとなった。そのため、我が国の産業界からも同展示会への積極的な出展が求められていた。IPAも2017年3月20～24日の期間、現地にて出展を行い、事業内容の普及に努めた。IPAから富田達夫理事長以下が関連式典に出席すると共に、CeBITに展示参加し、事業成果の発信を行った。

## 2 CeBIT関連行事

### ① 歓迎パーティー

3月19日、安倍総理、メルケル首相や関係大臣、企業トップなど計3,500人が参加した歓迎パーティーがドイツメッセで開催された。主催者であるBITKOM会長から、ドイツにおけるインダストリ4.0の進捗状況報告、教育研究大臣によるスタートアップのCeBIT表彰などが行われた。安倍総理からはドイツにおけるインダストリ4.0を踏まえ、日本は更に自由貿易と投資に基づくイノベーションを、日独が協力しながら進めていこうというメッセージが出された。

### ② 展示

CeBITでは、3月20～24日の5日間にわたり展示が行われた。IPAは、ジャパンパビリオンを総括するJETROの情報提供ブースの中で展示を行った。IPA展示に関しては、国際的にあまり類を見ないユニークな取り組みだということと、その内容の有効性及び公的機関としての活動の位置付けに関心を示す方が多かった。

CeBITは、情報産業の展示会だということもあり、もの作りよりB2BでのIoT導入や適用に力点が置かれており、SAPや、スタートアップ企業によるサービスの展示が主力であった。ただし、イ



写真1 SEC展示(右側)と対応者(左から林口、新谷)

ンダストリ4.0の推進という意味では、その中心的な推進事業者とされているシーメンスやボッシュも、4月のハノーバーフェア(同じくドイツメッセで開催)への出展に注力している模様である。

### ③ フラウンホーファーIESEとの特別イベント 「Fraunhofer welcomes Japan」

ドイツの中立的な研究機関であるフラウンホーファー研究機構はCeBITにも出展しており、同機構ブースにて、3月22日、日独の協力関係を記念した「Fraunhofer welcomes Japan」イベントが開催された。IPAは、同機構の一つである実験的ソフトウェア工学研究所(IESE)と12年来の協力関係にあり、これまでの協力成果と今後の方向性に向けたプレゼンテーションを行い、IESEとIPAの良好な協力関係を打ち出すことができた。



写真2 Fraunhofer welcomes Japanの登壇者(左端が和田)

### ④ CeBIT会場における日独協力の成果発表

CeBITの開催に合わせ、日独両国政府間で日独協力の方向性を定めた「ハノーバー宣言」が発出され(1)IoT/インダストリ4.0に関するサイバーセキュリティ、(2)国際標準化、(3)規制改革、(4)中小企業支援、(5)研究開発、(6)プラットフォーム、(7)デジタル人材育成、(8)自動車産業、(9)情報通信分野の協力が合意されている。IPAとしては、この中の(1)IoT/インダストリ4.0に関するサイバーセキュリティ分野において、IoTセキュリティガイドライン策定に協力した経験を活かし、IoTセキュリティに関する国際標準化の議論に参画した。

## 3 本イベントを振り返って

今回は国際的な展示会にIPAが参加する貴重な機会であった。展示を通じた視察者とのやり取りで、国際的に見たIPA活動の独自性を評価するコメントも複数あり、日本の国や文化に関する持っている個人もここ数年では増えつつあることも確認できた。今回の経験を、今後のWebを通じた情報発信や海外機関訪問時の事業PRなどに活かしていきたい。